

# 令和6年度福祉施設・事業所防災セミナー 開催要項

## －能登半島地震の教訓から学ぶ－

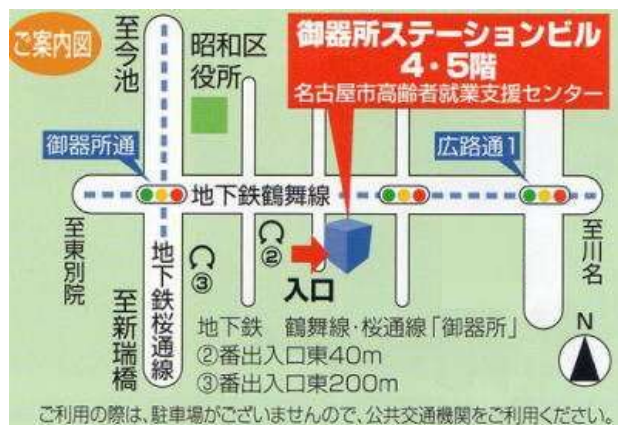
1 趣旨 元旦に発生した能登半島地震。発災直後から事業所を福祉避難所として運用し、その後、感染症の拡大で広域避難を余儀なくされ、利用者と支援者の一部を愛知に避難させた事業所がありました。

今回のセミナーでは被災地輪島の社会福祉法人理事長を講師にお招きし、発災直後からどのように安否確認をし、福祉避難所を立ち上げ、スタッフのシフトを組み、DMATと連携して健康管理をし、周囲で感染症が広がる中で広域避難を決断し、コーディネートしたか。1.5次避難所から2次避難所へと転々とする中で、どんな困難があったか。そして数ヶ月経って、事業所や利用者がどんな状況に置かれたかを報告いただきます。

被災地の事業所の苦勞と教訓から私たちの備えるべき課題を検証します。

2 日時 令和6年8月5日(月) 13:00～16:00

3 場所 名古屋市高齢者就業支援センター 5階大会議室  
名古屋市昭和区御器所通 3-12-1 御器所ステーションビル 電話 052-842-4691




- 公共交通機関をご利用下さい。
- 地下鉄「御器所」駅下車  
(鶴舞線) 2番出口より東へ40m  
(桜通線) 3番出口より東へ200m
- 建物西側入口からエレベータで5階にお上がりください。

4 参加費 無料

5 定員 100名(先着)

6 参加対象 名古屋市内の福祉施設・福祉サービス事業所職員など

7 プログラム

時間	内容
13:00～13:05	開会挨拶・趣旨説明
13:05～14:35 (質疑応答を含む)	講演 「令和6年能登半島地震～被災者として、福祉事業所として～」 畝和弘氏(社会福祉法人弘和会理事長) 輪島市と羽咋市で9拠点25事業所を運営し、輪島市と羽咋市の地域包括支援センター運営委員などを歴任。「住み慣れた地域で可能な限り暮らし続けることができる地域づくり」をめざし、認知症キャラバンメイトや支えあいマップインストラクターとして認知症ケアや地域で支えあうことの大切さの啓蒙活動を展開中。 
14:35～14:40	休憩・舞台転換
14:40～15:50	グループワーク「災害時要配慮者の安否確認と支援について」 南海トラフ巨大地震の発生を想定して、起こりうる課題を時系列で提示し、福祉サービス事業所として取り組むべき課題を検証します。 利用者の安全確保、発災直後から避難を求めてやってくる要配慮者と地域住民の受入と制限、支援のポイントを検討し、防災計画の見直しの契機とします。
15:50～16:00	閉会挨拶(名古屋市からのお知らせ)

8 主催 名古屋市健康福祉局監査課

お問い合わせ 防災セミナー事務局＝社会福祉法人AJU自立の家 わだちコンピュータハウス  
電話：052-841-9888 FAX：052-841-1015 メール：bousai@aju-cil.com

# 8月5日福祉施設・事業所防災セミナー 参加申込書




<https://forms.gle/MhmnivEcAAtc6rDv6>  
 ←申込フォーム、ブックスまたはメールにてお申し込み下さい。

団体名		施設種別	入所系・通所系・訪問系
			身体・知的・精神・高齢者
			宿泊施設・その他( )
所在地			
TEL		FAX	
Eメール			
参加者氏名			
	所属/役職	ふりがな 氏名	
1			
2			
講師に聞きたいこと			
備考（手話・要約筆記等の情報保障について、その他ご要望）			
車いす使用者 名			

申し込み締め切り **7月6日(土)**

お申込、お問い合わせ先

 社会福祉法人AJU自立の家わだちコンピュータハウス

防災企画グループ 担当 菅沼・大島・水谷

FAX : **052-841-1015** または E-mail : [bousai@aju-cil.com](mailto:bousai@aju-cil.com)